

令和2年度 学校・園便り

February



2月24日発行

つばき

笑顔いっぱい 感動いっぱい 夢がふくらむ

～ウミネコとカノコユリと恐竜の里～

薩摩川内市立鹿島小学校

電話 4-2004

かのこ幼稚園鹿島分園

電話 4-2424



「やれば…できる！」という実感を

校長 東條 睦 宣

学校では、学習の単元を終えたときに行う「単元テスト」や学期の「まとめのテスト」の他に、全国や鹿児島県の子どもたちの学習の実態について一斉に調査し、学力や学習状況を把握・分析し、学力向上に向けての取組の成果と課題を検証し、その改善を図る調査を行っています。

1月に実施した「鹿児島県学習定着度調査」もその一つです。小学校では、5年生が対象学年となっています。

本年度の結果は、次の表のようになりました。



項目	教科	国語	社会	算数	理科
鹿児島県平均通過率		75.0	75.5	69.4	74.9
調査前の本校の目標通過率		78.0	80.5	69.4	81.9
本校通過率		82.5	86.4	83.9	93.7

ありがたいことに、全ての教科で鹿児島県の平均通過率を超える結果になりました。職員一同、子どもたちと一緒に喜んだところです。

実は、もう1か所ご覧になっていただきたい欄があります。本校では、子どもたちのこれまでの学力検査等の結果をもとに、「調査前の本校の目標通過率」を設定しています。つまり、「今年の子どもたちの力であれば、これぐらいの通過率を目標にできるだろう」という、言わば「期待値」でもあります。今回、嬉しかったのは、我々教師が「目標」にし、「期待」していた数値よりも高い結果を出したということです。

これらの結果でめでたしめでたしと終わってしまってもったいないと考え、子どもたちが「目標」や「期待値」を超える力を発揮できた要因を分析することにしました。

力を発揮させたのは、次のような取組の成果ではないかと考えています。



- ◎ 4月当初から、基本的な生活習慣、人間関係づくり、学習のしつけ、学習に向かう心構え等の「学級経営の充実」を重視した。【分かるようになりたいとみんなで頑張る教室は、とても大切なのです。】
- ◎ 「速読の練習」や「一読で文章の大きな意味をとらえる練習」に取り組みさせた。【問題を適度な速さで読む（理解する）ことが苦手で、後半の問題は解けずに無答になってしまう『もったいない』子どもが多かったためです。】
- ◎ 日々の復習問題や単元テスト、定着度調査の練習問題をさせるだけではなく、「バツ」になった問題を「丸」にするために、何度も何度もチャレンジさせ、「100点」にして終わらせるようにした。【分かる・できるまで粘り強く取り組み、「やれば…できる」を数多く経験させることは、子どもの伸びる芽を育てます。】
- ◎ 過去問題や Web 問題等を活用し、これまで解いたことのないような問題を経験させ、幅広い問題に対応できるようにした。【まさしく「習うより慣れる」です。】

特に、3つめの「やれば…できる」という言葉は、お笑い芸人「ティモンディ」高岸さんのネタフレーズということで子どもたちも馴染みがあり、学校生活のいろいろな場面で子どもたちが好んで使っています。この言葉自体は古くから使われている言葉なのですが、今年の子どもたちの頑張りを見てみると、「やれば…できる」がぴったりに思えます。子どもたちにとって、「自分もやればできた！」という手応えは、大人が考える以上に大きなエネルギー源になります。自分の中の「できる自分」に出会う瞬間とも言えます。

鹿島の子どもたちに、言葉だけではなく、「やれば…できる！」という実感を何度も何度も経験させて、これからもさらに伸ばしていきたいと考えています。



無理なことでしょうか？……いえいえ、「やれば…できる！！！」

今月のかしまっ子



11月から延期になっていた定置網網持ち体験をようやく実施することができました。迫力ある定置網漁に大喜びの子どもたちでした。

2月の行事より

新入生体験入学（4日）

鹿島分園年長さんの2人が体験入学にやってきました。まず、1・2年教室で図工の授業を体験しました。はじめは緊張した表情をしていた2人でしたが、ポリ袋を使ったロケットを作り、飛ばして遊ぶ頃にはすっかり慣れて、ニコニコでお兄さんお姉さんたちと遊ぶことができました。全校児童とのレクリエーションもあり、堂々と自己紹介をしたり、よく話を聞き、ルールを守って遊んだりする姿に頼もしさを感じました。4月の入学をみんなで楽しみに待っています！



校内なわとび大会（22日）

保護者の皆様の力強い応援の中、校内なわとび大会を実施しました。紅白に分かれての個人種目、長縄跳びと、コロナ対策のため種目を限定して実施しました。子どもたちはこれまでの練習の成果を精一杯披露することができました。総合優勝は紅組でしたが、これまで高学年を中心に練習を重ねた長縄跳びは、応援する側も手に汗握る素晴らしい記録になりました。



「GIGAスクール」の充実に向けて

文部科学省が推進している教育改革案「GIGAスクール構想」に伴い、鹿島小にもタブレットPC27台が導入され、校内のネットワーク環境の工事を行うなど、順調に整備が進んでいます。本格的な運用は来年度からですが、児童1人に1台のPCと高速ネットワーク通信を活用した学習の充実を目指して、職員も研修・準備を重ねています。



☆おひな様を譲っていただきました☆

様より、お嬢様のおひな様を幼稚園に譲っていただきました。とても立派なおひな様で、幼稚園に飾っていますが、小学生も担任と一緒に見せていただきました。お嬢様を思って、大切にされてきたおひな様。その思いを受け継いで、これまでのおひな様同様、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



鹿島小・幼の卒業・卒園式及び入学・入園式について

例年、地域の皆様にもご臨席をいただき、卒業生・卒園児及び新入生・新入園児の門出を一緒にお祝いしていただいております。

しかしながら、コロナ禍の中、式次第を簡略化して時間短縮を行ったり、出席者の人数を減らしたりする等の感染拡大防止の措置をとる必要が出てまいりました。

子どもたちへ皆様からの温かい激励をいただきたいところ誠に残念ではありますが、今回は出席を控えていただきますよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、地域等で卒業生・卒園児及び新入生・新入園児を見かけられましたら、一言激励の言葉をかけていただきますよう、あわせてお願い申し上げます。

